

ID ^{注1)}	031119	公開レベル ^{注1)}	B	保管形式 ^{注1)}	紙	保管場所 ^{注1)}		前回ID	
報告書名称 / 調査名称	白神山地世界遺産地域の森林生態系保全のためのモニタリング手法の確立と外縁部の森林利用との調和を図るための森林管理に関する研究報告書（平成10～14年度）／ 白神山地の猛禽類の生息状況、行動圏の把握調査							発行年月/報告年月	
								2004年	2月
調査機関	環境省自然環境局 東北地区自然保護事務所			委託機関		由井正敏(岩手県立大学総合政策学部)			
調査開始年	1998年	10月	調査期間	1999年	11月	～	2001年	11月	
調査頻度 ^{注2)}	毎年	2	回	調査時期 ^{注2)}	春	秋	—		
モニタリング計画	2012年3月	策定	区分 ^{注2)}	ⅡB	大区分 ^{注2)}	2	小区分 ^{注2)}	(2)	
調査箇所・範囲 ^{注3)}					目的・調査手法				
<input checked="" type="checkbox"/> 核心地域 <input checked="" type="checkbox"/> 緩衝地域 <input checked="" type="checkbox"/> 周辺地域 <input type="checkbox"/> GPS等の位置データあり <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 位置図添付 (核心地域・緩衝地域) </div> <p style="font-size: small;">※周辺地域における調査箇所は備考欄に示す。</p>					<p>■調査目的 本報告は、1999年から3カ年白神山地一帯で実際に猛禽類の観察調査を行った結果をまとめるとともに、本地域一帯の猛禽類のモニタリングに適した手法確立の資料とするものである。主な対象種はイヌワシであるが、クマタカ等についてもデータを収集した。</p> <p>■調査方法 本研究による白神山地のイヌワシを主とする猛禽類の調査は1999年から開始した。その際、それ以前から由井他が行ってきた各種調査データや聞き込み情報、及び同時並行的に行われた青森県によるイヌワシ調査データ(2001年に報告書発刊)などに基づき、青森・秋田両県にまたがる白神山地全域におけるイヌワシのおおよその分布区域を整理し、調査の重点地域を定めた。 現地調査の目的は既知のイヌワシペアの再確認、未知のイヌワシペアの確認、各ペアの営巣地と営巣状況の確認、各ペアの行動圏の把握、採餌を主とする利用環境と森林現況の把握などである。また、それらの調査目的に合致する観察定点の探索も行った。 各年の現地調査は、イヌワシの育雛中期に当たる5月上旬及び繁殖初期にあたる11月中旬を主体に数名から23名を動員して、青森・秋田両県のイヌワシ生息地を中心に定点観察を行った(一斉調査という)。 2001年秋季には青森県イヌワシ調査会の10名のメンバーに支援して頂いた。また、6月の鳥類群集調査の際にも各サイト往復時などに猛禽類の観察を行ったほか、随時猛禽に関する情報を収集した。</p>				
結果概要 (スペースに収まるように入力してください)									
<p>①猛禽類観察結果 1999年から2001年の一斉調査で、表1に示すように全体合計で164羽+αのイヌワシが観察された。この他、オジロワシ、クマタカ、オオタカ、ハヤブサなどが観察され、特にクマタカは、世界遺産核心部よりもその周辺の急峻渓谷で多く観察された。櫛石平中腹部部植生モニタリングサイト付近ではクマタカの羽毛が1999年に拾得されたが、鳥類班による目撃はない。 聞き込み情報を合わせたイヌワシ調査結果に既存の資料を合わせて分析した結果、白神山地には2001年段階で7～8ペアのイヌワシが生息するものと考えられた。 白神個体群の各イヌワシペアの行動圏は概算で数千Haに及ぶが、その境界はデータ数が不足していて一斉調査結果のみからは正確に把握できない。なお、行動圏の分布や営巣地はイヌワシ保護の観点から本報告書には掲載しない。 繁殖経過については、巣へのアプローチが難しいので殆ど記録が取れなかった。一斉調査期間中に唯一営巣現場が確認された八森町では繁殖失敗した。青森県の調査情報などから一斉調査期間3カ年中に白神個体群で巣立ちが確認できたのは田代岳ペアを除いて5回であり、繁殖成功率は24～27%となる。 なお、クマタカについては今回の調査で2ペアの営巣地を確認し、またイヌワシより多く生息すると見られるが、イヌワシよりさらに行動圏の把握がむずかしいため、調査期間の限られるモニタリングの対象としてはやはり不向きと考えられる。</p> <p>②観察定点の選定 イヌワシ白神個体群を観察するのに適した観察定点については、青森県イヌワシ調査会からの意見も合わせ、これまでの調査結果からおおむね確定することができた。観察定点として適した視界の広い場所を図に示すが、全体で25カ所に及ぶ。白神山地は雪が深く残雪も多いので、繁殖最盛期である12～4月にアプローチできる定点は限られる。</p>									
問い合わせ	環境省東北地方環境事務所 西目屋自然保護官事務所 〒036-1411 青森県中津軽郡西目屋村大字田代字神田61-1 TEL:0172-85-2622 FAX:0172-85-2635 ≪原本(データ)の帰属について≫								

注1) 「ID」「公開レベル」「保管形式」「保管場所」については記入しないこと。
 注2) ドロップダウンリストから該当する項目を選択すること。
 注3) 該当する項目の口をクリックし、チェックを入れる。

備 考